

午後Ⅱ試験

問 1

出題趣旨

企業などでは競争環境がますます厳しくなる中で、限られた経営資源を重要な事業領域に集中して投資することが必要になっている。これに伴い、情報システム投資も重要な事業戦略の実現に不可欠なものを優先的に行っていくことが求められている。したがって、システム監査人は、新規の情報システム投資の実行可否や優先順位について適切な決定が行われているかどうか、また、運用開始後にその目的・期待効果の達成状況が適切に管理されているかどうかを評価する必要がある。

本問では、システム監査人が情報システム投資の決定や管理の適切性について監査するための知識・能力があるかどうかを問う。

問 2

出題趣旨

企業などで利活用している情報システムにおける品質が確保されていないと、不具合が生じた場合の影響は当該組織だけではなく、顧客や取引先、さらには国民生活にまで及ぶ可能性がある。したがって、設計・開発段階における各工程を通じて品質が確保されるようにコントロールすることが重要になる。しかし、システム監査人が品質を直接、確かめることは難しい。そこで、システム監査人は、設計・開発段階における品質管理の適切性を確かめることで、重要な品質が確保されているかどうかを評価する必要がある。

本問では、システム監査人として、情報システムの設計・開発段階における品質が確保されているかどうかを監査するための知識・能力があるかどうかを問う。